

われらが父、
われらが祖父。

気骨

思い出せ、日本人の気骨
とりもどせ、自恃の心！

細江英公 人間写真展

平成23年11月3日(木・祝)～11月29日(火)

午前9時～午後5時 (午後5時に閉館します。また会期中は無休です。)

会場: 北方文化博物館 大広間

料金: 北方文化博物館 入館料 (大人800円 小人400円)

この料金の館内同時開催の「伊藤家明治の絵葉書展『軌跡』」、今成家写真『明治人』草莽の人々等がすべてごらんになれます。

主催: 財団法人北方文化博物館/新潟大学人文学部 協力: 清里フォトアートミュージアム/細江英公写真芸術研究所

後援: 新潟県教育委員会/新潟市教育委員会/新潟日報社/読売新聞新潟支局/朝日新聞新潟総局/産経新聞新潟支局/毎日新聞新潟支局/月刊にいがた/

BSN新潟放送/NST/TeNYテレビ新潟/UX新潟テレビ21/エフエムラジオ新潟/FM PORT 79.0/ラジオチャット・エフエム新津

写真家、清里フォトアートミュージアム館長、東京工芸大学名誉教授。(社)日本写真家協会会員、(社)日本写真協会員、(社)日本写真学会会員、日本写真芸術協会会員。1933年、山形県米沢市生まれ。18歳の時に「富士フォトコンテスト・学生の部」で最高賞を受賞し、写真家を志す。1952年、東京写真短期大学(現・東京工芸大学)写真技術科入学。1956年、小西六フォトギャラリーで「東京のアメリカ娘」で初個展。1959年、東松照明、奈良原一高らとセルフ・エージェンシー「VIVO」を結成。1969年、「鎌鼬」で芸術選奨文部大臣賞を受賞。1998年、紫綬褒章受章。2003年、世界を代表する写真家7人のひとりとして英王立写真協会創立150周年特別記念メダル受章。2006年、写真界の世界的業績を顕彰するルーシー賞(米)の「先見的業績部門」を日本人として初受賞。2007年、旭日小授章受章。2009年、ルッカ・デジタル・フォトフェスティバル(イタリア)のマスター・フォトグラファーに選ばれる。2010年、ニューヨークにてナショナル・アーツクラブ(米)より日本人として初めて第18回写真部門生涯業績金賞を受賞。同年秋、文化功労者に選出される。主な代表作に「おとこと女」「蕃藪刑」「抱擁」「カウディの宇宙」「ルナ・ロッサ」「浮世絵うつし」「死の灰」等がある。

われらが父、われらが祖父。「気骨」

細江英公 人間写真展

会場：北方文化博物館 大広間

思い出せ日本人の気骨、取り戻せ自持の心一焦土の中から驚異的復興の土台を築き、日本社会を牽引した経済界のトップリーダーたち34人の面魂が蘇る！世界的写真家であり、昨年文化功労者として顕彰された細江英公氏が10年の歳月をかけて撮影した貴重な写真群を歴史的ヴィンテージ写真パネルで一挙に公開展示する画期的展覧会。



大屋晋三ご夫妻



早川種三ご夫妻

北方文化博物館の入館料のみで
全ての展覧会がごらんになれます。

すべての展覧会が、以下の日程です。
平成23年11月3日(木・祝)～11月29日(火)
午前9時～午後5時 (午後5時で閉館します。会期中は無休です。)
料金 北方文化博物館入館料 大人800円 小人400円

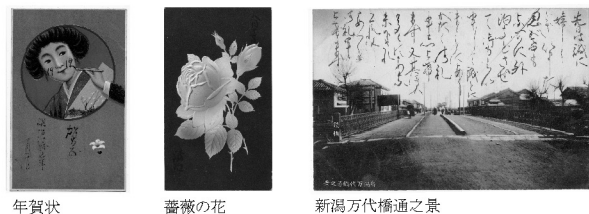
◆ 11月23日(水・祝)は午後2時より館内にて堀川久子舞踏「空と地のあいだに」も開催します！
欧州各国での公演や、新潟市の伝承芸能を支える活動も盛んに行うなど、新潟と海外を往来しながら土地や場所に息づくものを表現する独創的な踊り、是非その目で目撃して下さい。

「軌跡」

伊藤家 明治の絵葉書展

6代伊藤文吉時代の実通便 180点を初公開

会場：北方文化博物館
屋根裏ギャラリー(正門受付向い)



年賀状 薔薇の花 新潟万代橋通之景

昨年、北方文化博物館において6代伊藤文吉夫人真砂(まさご)が保管していた絵葉書群1200点が発見されました。これらは実際に使用された実通便であり、真砂の実家である村山家(柏崎市)や伊藤家の親戚斎藤家(新潟市)との交流を示し、また当時の郵便事情を知る上で貴重な資料です。

この度、発見されたうちから180点を選び公開します。書きつけられた文字や書面には、親類縁者の血の通った関係性や、個々の品格が息づいており、いきいきとした情景が浮かびます。一方、昔の写真や絵からは、見る者の心が瞬間的に洗われていく爽快感があります。明治時代のパーソナルコミュニケーションである絵葉書文化の世界をどうぞご覧ください。

新潟大学人文学部では、北方文化博物館における絵葉書の調査を、北方文化博物館との協力のもと、文部科学省大学教育推進プログラム「社会をひらく『きづく力』と『つなぐ力』～社会に見える実践的人文知の涵養と発信～」の一環として行い、その教育・研究成果として今回の絵葉書展も行っています。

細江英公人間写真「気骨」は、明治生まれの政財界人を題材にし、気骨とは何かを問う写真です。氏の意図するところは、著名な政財界人を撮ることにあるのではなく、日本人の中に脈々と流れる骨太な精神性を明らかにしようとするものです。ここ、新潟の幕末にも、自らカメラを持って自分たちの姿を写し撮ろうとした自由闊達な精神が、在野に生きる人びとの矜持と誇りを捉えました。今、新潟で、時を越え、氏の写真と共に、その精神が甦ります。

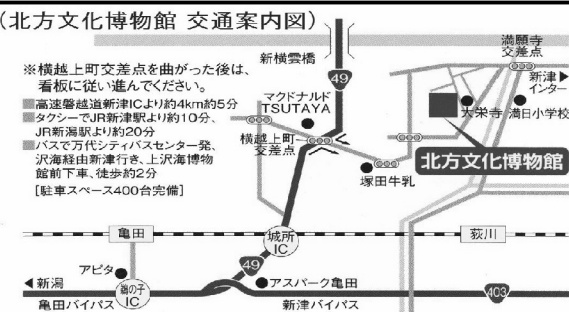
今成家写真「草莽」

「明治人」草莽の人々

—新潟発、写真の黎明—

会場：北方文化博物館 母屋台所

総合プロデューサー・ディレクター：石井仁志



お問い合わせ

ほっぽう
北方文化博物館
新潟県新潟市江南区沢海2丁目15-25
TEL. 025-385-2001 FAX. 025-385-3929
URL. <http://hoppou-bunka.com>